



社会福祉法人 恩賜財団

東京都同胞援護会

TOKYOTO ■ DOHO ■ ENGOKAI

同援だより

2018年 盛夏号 (181号)



「地上の星」に

常務理事 中島 昭



飯山理事長の新体制発足から一年が経過しました。この一年は、法人のガバナンス強化とともに働き甲斐のある職場づくりを進め安定した法人運営を図るために、病院の収支改善や職員の給与制度の見直しなどに取り組んでまいりました。

先月開催された理事会及び評議員会において、平成二十九年事業報告及び決算が承認されました。昨年六月に就任した会計監査人による指導助言もあり、法人のガバナンス強化が進みつつあるものの、平成二十八年度に引き続き厳しい決算内容でした。昨年五月に開設した「昭和郷高齢者複合施設」の初年度経費や昭島病院の収支改善が思うように進まなかったことなどが主な要因でした。

今年度は、法人のガバナンス強化をさらに進めながら、この二つの施設を中心にして、昭島市における「地域包括ケア」を推進してまいります。これが、地域貢献を果たしながら収支改善を実現し、安定した法人運営につながるものと考えております。

働き甲斐のある職場づくりについては、処遇改善加算を活用した手当の新設を行いながら、給与体系を見直して賞与の支給額増を図りました。また、東社協従事者共済会に加入し、非常勤職員にも退職手当支給の途を開きました。

一方、保育グループにおいては他のグループに先行して、賞与を期末手当と勤勉手当に分割し、勤勉手当については成績給を導入するなどの見直しを行い、職員の働き甲斐を維持しながらも将来的には人件費を適正な水準に保つ方向に舵を切りました。

さて、今年度も五十七人の新規採用職員が各施設に配属されました。「福祉は人なり。」まさに「人財」の卵です。これから、法人を挙げて育成してまいります。そこで、新人に一言。「何とかなる。何とかできる。今はダメでも明日なら。」

そして、職場の仲間も見守っています。私たちは、常に「挑戦者たち」でありたいと思います。「地上の星」として輝きたいと思えます。

新 任 挨拶



万世敬老園
園長 山口 慎二

法人に入職してから高齢系を中心に在籍十九年目の今年度、万世敬老園の園長に就任しました。二月に法人本部で常務より昇格を告げられ、身が引き締まったその日から三か月が過ぎました。周りの方に「園長」と声を掛けられるようになった現在、その感覚は増しているように感じます。利用者、職員及び関係者、そして地域と本当にたくさんの方々に関わらせてもらう毎日の中で、責任ある立場であることを実感しています。

万世敬老園は高齢サービスの中でも措置制度での運営であり、あまり知られていない事業といえます。しかしセーフティネットとしての存在価値は唯一といえるものです。生活困窮、虐待、障害、要介護、触法、これらの要因が複雑に絡みあい入所を余儀なくされる方もおられます。それだけに支援内容は本当に幅広く、ハード的にも決して恵まれていない中、まさしく日々奮闘のスタッフには頭が下がる思いです。利用者支援、養護老人ホームとしての存在意義の再確認、建て替えを含む中長期計画、当園の課題は尽きません。万世敬老園の理念「明日(みらい)の高齢者の福祉文化を創造し、発信します」の具現化を続ける所存です。



ニユーフジホーム
園長 柴田 聖子

昨年勤続二十年の表彰を受け、時の流れの速さに驚くとともに、二十年働き続けることが出来る職場に巡り合えたことに感謝をしています。大学卒業後、二年間ケニヤでボランティアをし、多くの学びを得ました。ケニヤに残る選択肢もありましたが、自分の現場を持ち、地に足をつけて自分で働いて生活をしていくことがまず大事と、日本に帰国し高齢者福祉の現場に飛び込みました。人生の晩年を迎える利用者の方達の最期の貴重な時間を共に過ごせる幸せを感じながら、介護職、相談員、副園長と勤めて参りました。これからは、

園長としての新たな視点から利用者、職員、地域と関わっていく事となります。ニユーフジホームは開設して三十七年となります。建物は老朽化してきていますが、その長い歴史の中で培ってきた、多くのボランティアの方々によるレクリエーション活動の充実、職員の専門性に基づく応用力の高さなど、誇るところも数多くあります。健全な経営、サービスの質の向上、新しい介護人材の確保と育成、そして現職員が安心して働き続けられる環境整備等、今後の課題は山積みではありますが、利用者や地域の方々には信頼される施設であり続けるよう、力を尽くしていければと思います。



ゆたか苑
園長 薄井 正和

平成二十六年四月、生活相談員として着任し、相談業務や行政機関との連絡調整等、多くの経験を積ませていただきました。十年振りに携わる介護保険制度は制度改正により大きく変わっており、戸惑いを覚えながらも高齢者福祉や制度について改めて学び直したことを思い出します。今年度より園長を務めさせていただきますが、私に重責を全うすることが出来るものかと不安は尽きません。しかし、幸いなことに慣れ親しんだゆたか苑での業務となりますので、様々な課題に対して職員間で協議をしながら取り組んでいければと思います。

また、今年度は診療報酬、介護報酬のW改定の年でした。年々膨らむ社会保障費を抑制しようと一部の利用者者に三割の自己負担を強いるなど介護保険施設を取り巻く環境はますます厳しくなる一方です。行政を含め、今後の動向に注視していかなければならないと考えております。その様な状況下で求められるのは、ゆたか苑の理念でもある「丁寧でやさしい寄り添う介護」ではないかと思えます。利用者の「いつまでも自分らしい生活を送り続けたい」という当たり前の気持ちに応えていくように職員一丸となって取り組んでいく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



同援はいじま保育園
園長 川村 純子

入職して二十年目を迎えたこの平成三十年四月、同援はいじま保育園園長を務めさせて頂くことになりました。振り返るとこの十九年間はあつと

いう間でした。私は昔から子どもが大好きで小さいころから保育士になるのが夢でした。その夢をかなえ、保育士として初めて昭和郷保育園に就職して、その後つじが丘保育園に異動しました。その中で関わってきた子どもたち、そして上司や同僚の皆さんと本当に楽しく充実した日々を過ごさせて頂いたと実感しています。様々な経験を経てこれから園長という立場で仕事をさせて頂くことに、ありがたいと思う反面、大変大きな責任も感じています。昨今は福祉や保育の現場も急速に変化していく時代です。待機児が多いといわれていても、近い将来は子ども数が確実に減少していく中、地域の中で本当に必要とされる保育園として残っていくことが課題だと思えます。同援はいじま保育園は家庭的な雰囲気の中で一人ひとりにじっくりと関われる環境が整っている。その良さを活かして、職員と一緒に子どもにとって本当に良い環境を作っていくことに努めていきます。今後とも皆さまのご指導を宜しくお願い申し上げます。



いっこの家
園長 山脇 啓子

四月よりいっこの施設長として就任いたしました。

同援に入職してから二十一年間、ずっと高齢系の施設で働いてきました。そのため、婦人保護施設に異動という話が出たときには同じ福祉、同援内の施設とはいえ、全く違う種別の施設で園長として全体を見る立場でやっていけるのだろうかと思いに思いました。

園長として一ヶ月経ち、いっこの職員はじめ、法人施設長、関係機関の方など、多くの方々に様々な事を教えて頂きながら日々の業務をこなしています。いままでとは全く違った方が対象となるため関係する法律や現在の婦人保護施設をとりまく環境について一から勉強している毎日です。

婦人保護事業は売春防止法が昭和三十一年に制定され、根拠法となつていますが、現在はDV防止法やストーカー規制法もその根拠法となっています。若年層の貧困化、JKビジネスなど問題も多様化しています。支援者は幅広い知識が求められると思います。それに応えられるよう職員と共に勉強しこれからも精進していきたいと思えます。慣れないため、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

退 任 挨拶



原町ホーム
前園長 佐々木末廣

長い間同援の皆様と共に有意義で楽しみのある仕事が出来たことは、良い思い出となりつつあります。思い起こせば十五年ほど前の総合企画委員会委員として硬直化した同援の財政状態を抜本的に改革し、新人事制度や人事考課制度を導入すべく全施設長・全職員と共に何度も議論し、職員の総意として改革が実現し、安定した組織と経営につながったことは、社会福祉法人改革の一つのモデルとなりました。

総務部長時代には同援のアイデンティティとなつているコミュニケーションマークの募集企画により職員のアイデアが活かされたことや、当時、四月採用職員を一月頃からわずか三か月程度で採用していたことを変更し、職員採用の前年からの公募方式を企画・実現したことが思い起こされます。

また、原町ホームでは地域との連携を包括ケアに結びつける「原町ほ

ほえみ交流事業」を実現しました。地域の高齢者と施設利用者の心あたたまる交流が生まれ、社会貢献事業としての側面もあり、新宿区長賞を職員と共にいただいたことは、有意義な出来事として心に残っています。

さらに二度目の原町ホーム在任では、原町高齢者複合施設のグループホーム、小規模多機能居宅介護、認知症対応型デイサービスセンターも兼務することとなり、新宿区との交渉や建物建設、収支見込の責任ある見通しを立案し、今日では原町ホームのみならず複合施設全体での経営が順調に推移するまでになりました。

これらのすべてに共通していることは、現場での仕事のあり方を、現場で分析し、現場の中から内発する方向性とその解決策を見出し、利用者・地域住民の喜びと職員の眼が輝き活躍する施設のあり方を求めてゆくことに有りました。

これからも様々な課題が生まれ、その解決が日々求められて参りますが、皆様の英知を結集して同援の未来を更り豊かなものとし、社会福祉の新时代を築かれますよう期待申し上げます。退任のご挨拶いたします。長い間有難うございました。

なお、四月からはフリーとなりま

したが、長年の習慣で起床時間に変化は無く、晴耕雨読をモットーに毎日を忙しく過ごしております。とりわけ五月には五十年前からのスウェーデンのペンフレンドが家族とともに初めて日本を訪れることとなり、eメールをやり取りし、スモールハウスの我が家で七人のゲストを迎え、ホームパーティが実現するなど有意義な日々を送っております。当日はメールでは存じ上げていたペンフレンドが十代の写真とは異なり、六十九歳のミセスとなり、ハズバンドと二人の息子夫婦と幼児一人のゲストでした。共に年齢を重ねたことや、家族の紹介をしながら、スウェーデンの高齢者福祉・子供たちの保育園の過ごし方やそれぞれの趣味・日本の旅行地の話が咲きました。家族同士の豊かな会話と国際性がこれからの生き方に必要なエネルギーとなると感じているところで





サンホーム
前園長 東 俊郎

平成三十年三月三十一日をもって退職する事となりました。昭和五十年四月、西荻窪にあつた養護施設双葉園で勤務し始めてから、四十三年の歳月が過ぎました。

子ども達の元気な笑顔、おとなも子どもも共に考え、生活を作つて行く日々で学んだ事も多くありました。五日市のキャンプで水遊びをしたりテントを張つたり食事を作つたり、夏の楽しい思い出、日々の生活の中で一緒に学習したり、毎日子どもの衣類を洗濯したり、たまには繕いものをする時もありました。そこには大きな和を感じる家庭がありました。そして御指導いただいた双葉園園長の高嶋巖園長、星野園長、高嶋昭子園長や同僚の先生方等、忘れえぬ十七年の日々でした。その後法人内の異動で、昭和郷や原町と六施設を経験する事となりました。

双葉園しか知らなかった私にとつては東京都同胞援護会の大きさを知ると共に、さまざまな福祉の世界を知り、視野を広げる日々でした。そしてライトホーム、サンホーム、原町ホーム、フジホームでは園長として勤務させていただきました。幸いな事にいつも諸先輩方や同僚の方々から助けられ利用者の方々より学ばせて

いただいた経験積み重ねる事が出来、感謝の気持ちで一杯です。

双葉園の次に長かったフジホームでは、新しく建て替えられてすぐ着任し十年を過ごさせていただきました。介護保険が始まったばかりの頃で、経営という意識の中で特別養護老人ホームも重度の方々から入所していた方向性がしめされた頃でありサービスと言う言葉にまだなじめない感じもありました。

専門性を高めて利用者満足を高める事を目指しましたが、高齢者福祉は介護報酬の減額が何回もあり、稼働率を上げて赤字化を防ぎながら、職員資質の向上も考えなければならず、職員を確保する事がままならぬ中で難しい課題でした。

原町ホーム、ライトホーム、サンホームにおいても、職員の方々がいろいろ考えて手作りの楽しみをたくさん生み出そうとする姿勢や、事務の職員の方々も含め施設が一緒になつて、支えようという気持ちが溢れて活気のある施設で過ごさせていたいただいた事に感謝いたしております。

年々福祉の世界も奥深くなり、同胞援護会には毎年五十名におよぶ新人の方々が入つて来ます。新たな力により、より一層同胞援護会が発展していきますよう祈りつつお礼の言葉にかえさせていただきます。長い間ありがとうございました。



『出合いに感謝』
みなと保育園
前園長 山下 弘子

一般の会社から保母資格をとり東京都同胞援護会に採用され、四十二年間お世話になりました。

振り返りますと最初の職場は、昭和五十年むさしの保育園でした。当時の園長より法人・保育園には歴史ある事を説明していただきました。そして保育園は、「子どもが『保育園は楽しい！また明日来るね』と言つて帰る保育をし、子どもを預かることは命を預かるという意味です。」と教えていただいたこの言葉は今でも忘れません。色々大変なことも、嬉しいこと、悲しいこと沢山ありましたが、子ども達の笑顔に励まされました。

神田川と善福寺川の合流地点に園がありましたので、昭和六十年には大雨による床上浸水したことがあり、その後も電話のベルで幾度も早朝から園に駆けつけたこともありました。

平成十一年にはむさしの乳児保育園との統合、平成十三年からはみなと保育園、その後の大山保育園では園舎建て替えに立ち会え、最後の一年はみなと保育園に異動致しました。

この間に社会状況の変化により保育園に求められる事も多く産休明け保育・延長保育の利用者の増加・地域支援・親の子育て力低下への援助

など多様なニーズに対応する為に、保育の役割を職員と共有し、話し合いを重ね職員の頑張りや賢明さに支えられ一つひとつ乗り越えられました。また保育の充実と職員一人ひとりの質の向上へと努力の日々でした。これで良いのか、いつも考えながら進んで参りました。

昨年、厚生労働省より公示された保育所保育指針が今年度施行となりました。保育グループにおいては、研修等を参考に進められていると思います。子ども達が健やかに成長できるように支援して欲しいと思います。

最後になりましたが、四十二年間にたくさんの子どもの笑顔、保護者の皆さま、側で支えてくれました職員皆さま、仕事仲間の皆さまとの出合いに感謝申し上げます。力不足の私を皆様の支えがあったからこそこれまで長く続けてこられました。

本当に有難うございました。東京都同胞援護会の益々の発展をお祈り致します。





『お世話になりました』
双葉園
前園長 宮澤 民雄

平成二十五年四月より双葉園にお世話になりました。在任中は、公私ともに皆様にはご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。微力な身であり、皆様には何かとご迷惑とご心痛をおかけしたことを紙面を借りてお詫び申し上げます。

振り返れば、この五年間は職員欠員による採用に追われた日々でした。児童の入所依頼は、少ない時で週一〜二回、多い時は毎日と続く時もあり、この現状が逆になつてもらいたいと常に願っていました。また、利用者対応、職員の連携、連絡調整にも追われた日々でした。

児童養護施設が社会的役割として求められるものは、この十年間で大きく変容しました。双葉園でも、平成二十五年から自立支援コーディネートターの導入、二十六年からは専門機能強化型事業の導入、二十七年からは本園小規模ユニット工事、二十八年四月より児童八名以下の集団による小規模ユニットの生活が始まりました。小集団化により個別ニーズに、よりきめ細かく対応できるようになつた反面、職員が複数対応から一人対応が増えたことによるフオーワー体制が難しく、経験年数の少ない職員の離職につながりました。人材確保、定着のために、

二十八年からは新任職員の園内研修の充実、業務マニュアルの見直し等の取組みも行ってきました。

施設の生活は、日々いろんな出来事があります。子ども達は、見捨てられ観が強く、根底には大人不信、親不信があります。高嶋巖初代園長が「大人と子どもの関係で一番大切なことは信頼関係である」と。そのためには、「待つことだ、絶えることだ（後略）」との言葉を残してくれました。子ども達が出会う大人が全て信頼できる人であればと願うものであります。

お互いを認め、おおらかで楽しく目標に向かつていく生活ができることを切に望んでいます。東京都同胞援護会の益々の発展と双葉園の子ども達の幸せと皆様のご活躍、ご健勝を心より祈念しています。双葉園へのご厚誼の程、今後もよろしくお願ひいたします。お世話になりありがとうございます。



『ありがとう、サヨナラ』
たかしまの家
前ホーム長 原田 浩二

ずいぶんと永い間、いろんな施設で仕事をしてきました。たくさんの人達と出会いました。ひとり一人のすばらしい個性と感性との出会いでもありました。それぞれに学び教えられ、ときめき、とまどう日々で、頭の中は大変だった時もあります。それでも施設生活ならではの思い出はいっぱい生まれてきます。季節の移ろいの中で、少しずつ変わっていく光やにおいや音は生活感そのものでした。

昭和郷の祭りの前の灰色の空、東村山の夕げの前の紅色の空、キャンブに出かける前の西荻窪の青い空、お年寄りから子ども達までみんな、あの空の下にいた。そして一緒に、空を見上げていました。こうして、ともに在る生活は、人と人とのつながりを深めていくのでしょうか。きっと福祉文化なのでしょう。

今でも双葉園玄関ロビーの額に入っている「いそいそではいけない、かまえてはいけない、たえることだ、まつことだ、いのることだ」は、高嶋巖先生の教えです。初めて出会った福祉の感性でした。ひらがな三十五文字のもつ心に浸み込む不思議な響きです。いつのころからか自分の仕事と照らし合わせるようになっていました。ずっと忘れてはい

けない言葉です。

でも私の仕事は、果たしてどうだったのかは、わからないでいます。抽象的な言葉は、福祉にはたくさんあり、使命をも表しています。福祉では毎日の仕事の中で、それを具現化していきます。自分の生き方に、それは映し出されていきます。つくづく、すごい仕事だと思つていきます。やはり、「あつ！」という間に時が過ぎていったようです。今にしてみれば：とか思い起こしても、だんだんと記憶は薄れ、やがてすべては幻となつていくのかも知れませんが。忘れたくないのは、愉快で笑つていた思い出の方が、いいに決まっています。つらいことなどはさておいて、大人なのでなおさらです。

子ども達と川のほとりで話した、「二千年の時をかけ、向う岸からこちら岸まで、川底を旅してきた転がる石」の話は傑作でした。内容は紙面の都合で、いずれまた：です。ずいぶんと永い間、本当にありがとうございました。すべてのお祈りのご健康とご活躍を心よりお祈りいたします。



平成 29 年度 事業報告について

平成 30 年 6 月 13 日に開催された理事会、6 月 29 日に開催された評議員会において、「平成 29 年度事業報告」並びに「平成 29 年度決算報告」が承認されましたのでお知らせいたします。

なお、本会の事業報告並びに決算書は頁数が相当数に及びますので、その要旨のみを 7 ページから 11 ページのとおり紙上掲載いたします。

法人事務局に「平成 29 年度事業報告・決算報告書」がございますので、詳細をお知りになりたい方は、事前にお電話で来訪日をお知らせいただければ閲覧していただけます。

平成 29 年度 事業 報 告

平成 29 年度の日本の経済は、政府の各種経済対策などにより、良好な企業業績を背景に景気は順調に回復しています。一方で雇用情勢の指標となる有効求人倍率がバブル期に迫る勢いで伸びています。社会福祉法人などの介護や保育の現場にとっては一般企業以上に深刻な人手不足が経営に影響する厳しい局面を迎えています。

当法人としても、採用困難な状況と向き合いながらも、生活困窮者家庭のこども学習室の運営など地域ニーズに応えるための社会貢献活動や地域包括ケアの実現に向けた新たな福祉事業を展開するとともに、地域医療の充実を目指し病院経営の健全化に向けた取り組みを行ってまいりました。

29 年度の昭島病院の経営状況につきましては、厳しい収支状況が続いています。さらに常勤医師や看護師の確保等も大きな経営課題となっています。このような中であっても、院内組織体制の見直しや回復期医療の充実に向けた病床再編、最新医療機器の導入及び専門外来の開設などの病院機能の充実に努めてまいりました。年度終盤には病床稼働率の上昇が見られましたが、29 年度の最終活動増減差額は 5,400 万円のマイナスとなり赤字決算となりました。今後、地域住民や関係福祉施設・地域医療機関等と連携し、超高齢社会におけるさまざまな医療ニーズにも応えられる地域包括ケアの中核病院を目指し、引き続き全力で収支改善に取り組んでまいります。

次に法人全体の事業運営につきましては、まず「東京都同胞援護会中長期計画」を作成いたしました。これにより行動指針を明らかにし、法人の運営並びに経営基盤の強化に向けたしくみづくりをおこなうとともに、利用者サービスや施設運営の一層の充実を図り、人材の確保及び育成に努めました。組織運営につきましては、社会福祉法人制度改革にともない、新たに会計監査人による定期的な監査を実施し、法人経営の充実とガバナンスの強化を図ってまいりました。

施設運営につきましては、利用者への個別支援計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、ゆたか苑の大規模修繕をはじめ、老朽化した設備の更新など利用者の安心・安全を確保するための対策を推進してまいりました。さらに地域包括ケアシステムの構築に向けて昭和郷高齢者複合施設を開設して、昭島市内初の 24 時間対応できる定期巡回随時対応型訪問介護事業や小規模多機能型居宅介護事業を展開し、在宅高齢者の「人生の最後まで自分らしい暮らし」の実現に取り組んでまいりました。障害支援事業でも新たな取り組みとして、高齢化した障害者の方でも利用できるグループホーム「風のね」の運営をスタートさせました。

人材の確保につきましては、年度当初より新規学卒者などの積極的な採用を進めたことにより、必要数を確保することができました。人材の育成につきましては、階層別の法人研修を実施したほか、各支援系グループにおいても、分野別の専門研修などを実施しました。さらにその確保・定着を促進するため、処遇改善加算を活用した手当の新設や各種手当の本給組入れによる賞与支給額増などの給与改善を図りました。最後に老朽化や社会的ニーズの変化により、軽費老人ホーム「ライトホーム」並びに母子生活支援施設「サンライズ青山」の歴史ある 2 つの事業を廃止したことをご報告いたします。

施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援ご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

同 援 だ よ り

平成 29 年度 施設利用状況報告

平成 30 年 3 月 31 日現在

グループ名	種別	施設名	利用状況							職員配置状況				常勤換算		
			定員	利用者数 (3月末)	1日平均 利用者数	年間 利用者数	年間実施 延日数	年間利用率			正規 職員	契約 職員	非常勤		職員数 合計	
								29年度	28年度	前年対比						
保育支援施設	保育所	むさしの保育園	169	180	178.7	52,373	293	105.8%	105.4%	0.4%						
		本園	140	151	149.8	43,900	293	107.0%	105.9%	1.1%	37	0	15	52	47.2	
		方南分園	29	29	28.9	8,473	293	99.7%	103.2%	-3.5%						
		昭和郷保育園	100	115	115.3	33,769	293	115.3%	115.6%	-0.3%	23	1	17	41	36.4	
		大山保育園	130	131	131.5	38,533	293	101.2%	101.2%	0.0%	27	1	8	36	34.2	
		昭和郷第二保育園	190	201	197.6	57,906	293	104.0%	104.9%	-0.9%	31	4	21	56	49.6	
		みなと保育園	63	65	65.3	19,124	293	103.6%	99.6%	4.0%	19	2	5	26	24.6	
		同援みどり保育園	125	130	130.0	38,090	293	104.0%	103.2%	0.8%	28	3	15	46	39.5	
		つつじが丘保育園	110	131	130.9	38,359	293	119.0%	119.8%	-0.8%	23	1	16	40	36.5	
		同援さくら保育園	108	118	118.0	34,574	293	109.3%	111.0%	-1.7%	24	1	29	54	38.0	
同援はいじま保育園	50	42	41.0	12,014	293	82.0%	60.1%	21.9%	9	2	6	17	13.5			
	保育施設計	1,045	1,113	1,108.3	324,742	—	106.1%	105.0%	1.1%	221	15	132	368	319.5		
高齢者支援施設	養護老人ホーム	万世敬老園	200	184	182.1	66,460	365	91.0%	92.7%	-1.7%	21	8	17	46	41.4	
		サンホーム	50	50	50.0	18,250	365	100.0%	100.0%	0.0%	9	6	6	21	17.7	
	軽費老人ホーム	ライトホーム	50	0	21.0	630	30	42.0%	52.5%	-10.5%	0	0	0	0	0.3	
		救護施設	100	100	99.8	36,436	365	99.8%	99.9%	-0.1%	34	8	11	53	49.9	
		昭島荘	100	100	99.8	36,436	365	99.8%	99.9%	-0.1%	34	8	11	53	49.9	
		小計	400	334	352.9	121,776	—	94.2%	90.4%	3.8%	—	—	—	—	—	
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業)	フジホーム	104	101.3	101.5	37,053	365	97.6%	96.0%	1.6%	36	11	20	67	60.4	
		ニューフジホーム	104	98.0	97.2	35,475	365	93.5%	96.1%	-2.6%	39	6	19	64	62.8	
		原町ホーム	52	51.8	51.7	18,882	365	99.5%	99.3%	0.2%	19	5	20	44	39.1	
		ゆたか苑	54	51.7	52.1	19,013	365	96.5%	95.5%	1.0%	25	2	12	39	33.1	
		ひかり苑	54	52.0	53.3	19,448	365	98.7%	97.9%	0.8%	24	12	11	47	41.8	
		小計	368	354.8	355.8	129,871	—	96.7%	96.7%	0.0%	—	—	—	—	—	
	認知症対応型老人共同生活 援助事業(グループホーム)	かえで	18	18.0	15.8	5,764	365	95.6%	99.9%	-4.3%	3	13	4	20	20.0	
		原町グループホーム	18	16.5	17.3	6,304	365	96.0%	98.4%	-2.4%	3	4	19	26	19.2	
		フジ・デイサービスセンター	25	20.2	21.3	6,547	308	85.0%	77.0%	8.0%	3	0	13	16	13.6	
		原町デイサービスセンター	12	5.7	5.5	1,717	313	45.7%	52.0%	-6.3%	0	1	7	8	5.7	
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	7.7	8.3	2,566	308	69.4%	69.7%	-0.3%	1	4	5	10	7.1	
		新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	1,426	55.3	16,096	308	—	17,148	(-0.9%)	10	1	1	12	11.4	
		昭島市中部地域包括支援センター あいぼく	—	1,350	46.9	13,776	294	—	11,513	(1.2%)	3	0	4	7	5.8	
		フジホーム	—	65	3.2	771	244	—	829	(-0.9%)	1	0	2	3	2.0	
原町ホーム		—	84	3.5	1,028	294	—	1,044	(-1.0%)	2	0	0	2	2.0		
ゆたか苑		—	86	4.2	1,014	244	—	963	(1.1%)	2	1	0	3	3.0		
ひかり苑	—	46	2.5	616	244	—	582	(1.1%)	1	0	1	2	2.0			
昭和郷	—	28	0.8	185	224	—	—	—	1	0	0	1	1.0			
小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター	25	20	21.3	7,758	365	85.0%	84.4%	0.6%	4	3	9	16	13.7		
昭和郷小規模多機能居宅介護センター	25	17	14.4	4,839	335	57.8%	—	—	4	5	4	13	11.7			
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	昭和郷訪問介護センター	—	18	13.2	4,416	335	—	—	—	6	3	5	14	10.4		
小計	135	348.1	94.2	30,735	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
公益事業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	介護職員初任者研修事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	さくらガーデン (サービス付き高齢者向け住宅)	49	48	42.7	14,304	335	87.1%	—	—	1	0	9	10	4.7		
高齢者施設計	952	1,085	846	296,686	—	92.7%	91.7%	1.0%	252	93	199	544	479.8			
障害者支援施設	障害者支援施設(入所)	さやま園(居住)	施設入所支援	96	90.8	89.4	32,639	365	93.1%	94.1%	-1.0%					
		生活介護	(96)	100	93.5	24,536	269	95.0%	94.8%	0.2%	46	31	40	117	94.9	
	障害福祉サービス (通所)	短期入所	4	1.7	1.8	663	365	45.4%	34.2%	11.2%						
		小茂根福祉園	生活介護	40	32.8	32.3	7,840	243	80.7%	74.5%	6.2%	31	2	1	34	33.6
		就労継続支援B	30	27.4	27.7	6,732	243	92.3%	93.1%	-0.8%						
		生活介護	30	26.9	28.6	6,971	244	95.2%	95.2%	0.0%						
		立川福祉作業所	就労継続支援B	35	41.9	41.2	10,048	244	117.7%	115.3%	2.4%	9	4	18	31	24.4
		就労移行支援	10	3.7	5.0	1,209	244	49.5%	93.0%	-43.5%						
	東村山生活実習所	生活介護	30	28.0	28.0	6,844	244	93.5%	89.6%	3.9%						
		就労継続支援B	10	9.5	9.0	2,190	244	89.8%	88.2%	1.6%	12	7	9	28	25.4	
	短期入所	2	12	0.6	205	365	28.1%	35.8%	-7.7%							
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	—	309	9.2	3,345	365	—	2,709	(1.2%)	17	2	9	28	22.5	
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	—	748	24.5	8,945	365	—	8,655	(1.0%)	21	0	17	38	26.1	
	共同生活援助事業 (知的障害者 グループホーム)	アミニティ富士見	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
		グリーンハイツ	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
		フレンズ・モエ	5	5	5.0	1,825	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
		パル	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
		それいゆ小川	7	7	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(2)	—	0	—	
		ファーム竹丘1	6	6	5.3	1,919	365	87.6%	100.0%	-12.4%	—	(2)	—	0	—	
		ファーム竹丘2	7	6	7.0	2,554	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
風のね		10	10	7.8	1,411	182	77.5%	—	—	—	4	4	4	12	—	
レゾナンス巣鴨		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—		
はなみずき		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—		
ユーカリ		4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—		
夢オハナ		6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—		
結オハナ	6	6	5.9	2,150	365	98.2%	100.0%	-1.8%	—	(1)	—	0	—			
特定相談支援事業	さやま園	—	14	—	120	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
さくらんぼ	—	16	—	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
公益事業	豊島区西部障害支援センター	—	—	—	—	—	—	—	—	(2)	—	(2)	(4)	—		
障害者施設計	364	1,531	462.3	137,959	—	93.3%	93.9%	-0.6%	140	50	98	288	226.9			

注1 嘱託医等の業務委託や派遣職員は算入していない。 注2 共同生活介護・共同生活援助(風のね除く)の職員配置は、委託事業のため職員数および常勤換算には含まない。

同 援 だ よ り

児童・女性支援系施設	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	20	17	15.1	5,503	365	75.4%	84.5%	-9.1%	8	2	4	14	11.1	
		緊急一時保護事業	1	7	0.3	109	365	29.9%	49.3%	-19.4%						
		サンライズ青山	20	1	3.5	1,295	365	17.7%	30.1%	-12.4%	4	1	3	8	5.9	
		緊急一時保護事業	1	0	0.0	13	365	3.6%	50.1%	-46.5%						
		サンライズ万世	20	19	18.4	6,728	365	92.2%	86.4%	5.8%	9	2	5	16	11.8	
	緊急一時保護事業	1	3	0.2	59	365	16.2%	5.5%	10.7%							
	児童養護施設 (地域小規模) (地域小規模)	双葉園	50	49	47.8	17,447	365	95.6%	96.0%	-0.4%	25	7	8	40		
		双葉園	(38)	(36)	35.8	13,076	365	94.3%	94.8%	-0.5%						
		高嶋の家	(6)	(6)	6.0	2,181	365	99.6%	100.0%	-0.4%	4	0	0	4	43.0	
		くすのき	(6)	(6)	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	4	0	0	4		
	昭島市子どもトワイライトステイ事業	2	15	—	194	365	—	—	—	—	—	—	—			
	婦人保護施設	いこいの家	40	9	12.9	4,724	365	32.4%	26.2%	6.2%	9	4	4	17	14.1	
	児童厚生施設	昭島市児童センターばれっと	—	5,734	169.1	56,127	332	—	54,060	(1.0%)	2	1	8	11	7.3	
児童・女性施設計		155	5,839	267.4	92,199	—	65.2%	65.8%	-0.6%	65	17	32	114	93.2		
施設合計		2,516	9,568	2,683.6	851,586	—	95.9%	95.4%	0.5%	678	175	461	1,314	1,119.4		
医療	病院	昭島病院	199	13,752	553.0	166,951	365	—	174,144	(-0.9%)						
		入院	199	4,402	135.0	49,493	365	68.1%	64.9%	3.2%	180	0	137	317	245.9	
		外来	—	9,350	418.0	117,458	281	—	127,022	(-0.9%)						
	昭島病院訪問看護ステーション	—	225	12.8	3,353	263	—	3,058	(-1.1%)	3	0	3	6			
収益	印刷事業局	—	—	—	—	—	—	—	—	15	2	0	17	17.0		
不動産賃貸	不動産賃貸事業・病院駐車場事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
合計（福祉施設 31、病院 1、事業局 1、その他事業 32）		2,715	23,545	3,249.4	1,021,890	—	—	—	—	876	177	601	1,654	1,382.3		

資金収支計算書

(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 平成 30 年 3 月 31 日

(単位：千円)

勘定科目	合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去	
事業活動による収支	事業活動収入計 (1)	11,398,730	10,859,380	189,455	379,719	▲ 29,824
	事業活動支出計 (2)	10,826,180	10,348,692	170,322	336,990	▲ 29,824
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	572,550	510,688	19,133	42,729	0
施設整備等による収支	施設整備等収入計 (4)	135,466	135,466	0	0	0
	施設整備等支出計 (5)	766,398	752,816	1,436	12,146	0
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	▲ 630,932	▲ 617,350	▲ 1,436	▲ 12,146	0
その他の活動による収支	その他の活動収入計 (7)	478,987	498,387	0	0	▲ 19,400
	その他の活動支出計 (8)	190,418	190,418	3,565	15,835	▲ 19,400
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	288,569	307,969	▲ 3,565	▲ 15,835	0
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)		230,187	201,307	14,132	14,748	0
前期末支払資金残高 (11)		3,069,914	2,916,708	50,017	103,189	0
当期末支払資金残高 (10) + (11)		3,300,101	3,118,015	64,149	117,937	0

同 援 だ よ り

事業活動計算書

(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 平成 30 年 3 月 31 日

(単位：千円)

勘定科目		合 計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去
サービス活動増減の部	サービス活動収益計 (1)	11,282,546	10,742,203	188,554	379,482	▲ 27,693
	サービス活動費用計 (2)	11,269,815	10,782,136	170,228	347,275	▲ 29,824
	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	12,731	▲ 39,933	18,326	32,207	2,131
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計 (4)	112,026	113,019	901	237	▲ 2,131
	サービス活動外費用計 (5)	31,587	30,831	754	2	0
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	80,439	82,188	147	235	▲ 2,131
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		93,170	42,255	18,473	32,442	0
特別増減の部	特別収益計 (8)	138,070	155,752	0	1,624	▲ 19,306
	特別費用計 (9)	157,239	156,326	3,570	16,649	▲ 19,306
	特別増減差額 (10) = (8) - (9)	▲ 19,169	▲ 574	▲ 3,570	▲ 15,025	0
税引前当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		74,001	41,681	14,903	17,417	0
法人税、住民税及び事業税支出 (12)		265	85	0	180	0
当期活動増減差額 (13) = (11) - (12)		73,736	41,596	14,903	17,237	0
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (14)	7,458,475	7,293,629	51,802	113,044	0
	当期末繰越活動増減差額 (15) = (13) + (14)	7,532,211	7,335,225	66,705	130,281	0
	基本金取崩額 (16)	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (17)	478,137	478,137	0	0	0
	その他の積立金積立額 (18)	154,900	154,900	0	0	0
	次期繰越活動増減差額 (19) = (15) + (16) + (17) - (18)	7,855,448	7,658,462	66,705	130,281	0

同 援 だ よ り

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：千円)

勘定科目	合 計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去
資産の部					
流動資産	4,232,789	3,972,978	74,150	194,315	▲ 8,654
固定資産	16,939,440	16,894,919	8,883	199,812	▲ 164,174
(基本財産)	10,617,514	10,617,514	0	0	0
(その他の固定資産)	6,321,926	6,277,405	8,883	199,812	▲ 164,174
資産の部合計	21,172,229	20,867,897	83,033	394,127	▲ 172,828
負債の部					
流動負債	1,429,990	1,350,039	9,968	78,637	▲ 8,654
固定負債	1,080,818	1,080,818	0	164,174	▲ 164,174
負債の部合計	2,510,808	2,430,857	9,968	242,811	▲ 172,828
純資産の部					
基本金	1,007,845	1,001,610	0	6,235	0
国庫補助金等特別積立金	4,811,828	4,811,648	180	0	0
その他の積立金	4,986,300	4,965,320	6,180	14,800	0
次期繰越活動増減差額	7,855,448	7,658,462	66,705	130,281	0
(うち当期活動増減差額)	73,736	41,596	14,903	17,237	0
純資産の部合計	18,661,421	18,437,040	73,065	151,316	0
負債及び純資産の部合計	21,172,229	20,867,897	83,033	394,127	▲ 172,828

同 援 だ よ り

財 産 目 録

平成 30 年 3 月 31 日現在
社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

(単位：千円)

I 資産の部		¥ 21,172,229
(1) 流動資産	¥ 4,232,789	
(2) 固定資産	¥ 16,939,440	
ア. 基本財産	¥ 10,617,514	
イ. その他の固定資産	¥ 6,321,926	
II 負債の部		¥ 2,510,808
(1) 流動負債	¥ 1,429,990	
(2) 固定負債	¥ 1,080,818	
III 差引純資産		¥ 18,661,421

監 査 報 告 書

平成 30 年 6 月 1 日

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

理事長 飯 山 幸 雄 殿

監 事 鈴 木 道 生
監 事 岩 井 令 雄

私たち監事は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの平成 29 年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。
- (2) 事業報告に記載されている理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他社会福祉法人の業務の適正を確保するために必要なものとして社会福祉法施行規則（昭和 26 年厚生省令第 28 号）第 2 条の 16 各号に掲げる体制の整備に関する理事会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部管理体制）について、理事及び職員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
- (3) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（社会福祉法施行規則第 2 条の 33 各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成 17 年 10 月 28 日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
 - ③ 内部管理体制に関する理事会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部管理体制に関する事業報告の記載内容及び理事の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。
- (2) 計算書類及び財産目録の監査結果
会計監査人久保豊子公認会計士事務所の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以 上

サンライズ青山の追憶

サンライズ青山は港区南青山において、昭和三十七年十月から母子生活支援施設を運営してまいりましたが、施設の老朽化や移転先の確保が困難なため、苦渋の選択ではありましたが平成三十年三月三十一日に事業を廃止、五十五年間の歴史に幕を閉じました。

私は平成二十六年四月、サンライズ青山の所長に就任以来、改築問題や様々な出来事を経験しましたが、この四年間で一番印象に残っていることは、施設が地域の皆様に見守られていたことと、施設を町会活動に活用していただき、地域社会と一体化していたことです。また、利用者の皆様も地域のお祭りや子ども神輿など、積極的に参加されておりました。



母子生活支援施設は施設の性格上、セキュリティの強化が求められ、閉鎖的なイメージになり易い面もありますが、サンライズ青山の開放的な面は、利用者にとっても生活しやすい施設であったと思います。但し、都心の一等地で商店も少なく、利用者の生活必需品はインターネットの活用が施設の特徴でもありました。

五十五年間の総利用世帯は三七二世帯、多くの子ども達が巣立ち、新たな生活にチャレンジ出来ました。南青山一丁目町会の皆様、近隣町会及び企業の皆様、関係機関の皆様、永年に亘り多大なご協力、ご賛同に感謝申し上げます。

(鎌田 記)

昭和郷「健康サロン」

地域の皆様を対象に、健康づくりをテーマにしたサロンを今年度四月から始めました。ころばない身体作りや痛みを和らげる方法、熱中症や感染症対策、糖尿病についてなど健康について身体を動かしながら学べるサロンです。

会場はさくらホール、毎月第三土曜日の午前中に行います。

基本メニュー

「健康チェック」 保健師、看護師が行います。

「健康体操」 理学療法士、作業療法士が行います。

「健康講座」 医師や専門職の講話。

「お茶タイム」

「なんでも相談」 看護師、理学療法士、MSW、栄養士、特養相談員、保育士等がそれぞれの専門分野で相談を受け付けます。

第一回目は、昭島病院院長が「健康寿命」についての講話をし、第二回目は、だれでもできる体力測定を実施しました。

参加者は約三十名。参加してくださった皆様からは、「こんな出会い(サロン)があつてほんとにうれしい」「きめ細かい、楽しい」などの感想をいただきました。

また、保育園のお子さんが歌と踊

り(よさこいソーラン節)を披露してくれて、とても盛り上がりました。この取組は、少しでも地域に貢献する中で昭和郷を知っていただき、地域の皆様と交流を通じて、ご意見ご要望を伺い、地域包括ケア推進に資することを目的としています。病院の専門職をはじめ、昭和郷職員の熱心な協力でうまくはじめることができました。今後、健康サロンが地域の皆様にさらに喜ばれるように昭和郷で工夫をしていきたいと思

(山川 記)



講話「健康寿命について」

ご支援ありがとうございました（敬称略順不同）

ご 寄 付

- ◇ 国際ソロプチミスト昭島
- ◇ 西池袋南町会
- ◇ 杉並区和田堀地区民生児童委員協議会
- ◇ 原みさ子 ◇ 大野武夫
- ◇ 高橋暢子 ◇ 竹内捷郎

後 援 会

- ◇ 川杉満吉 ◇ 佐々木みつる
- ◇ 幡野信子 ◇ 高仲智子
- ◇ 本田ふき子 ◇ 久野顕次郎
- ◇ 森岡正代 ◇ 大橋正照
- ◇ 中村屋魚店 中村浩二
- ◇ 矢部文子 ◇ 磯野輝夫
- ◇ 南雲栄一 ◇ 田中青果店 田中潔
- ◇ 株式会社 東京厚生信用組合本店
- ◇ 横田屋米店
- ◇ (福) 森の会広域地域ケアセンター
バオバブ
- ◇ (有)いとう教材社
- ◇ 国立厨房サービス(株)
- ◇ (有)肉の大大提高
- ◇ (株)八王子アイスフードセンター
- ◇ 吉村電気工事(株)
- ◇ 唐澤電気(株) 代表取締役 小林利美
- ◇ (株)ラッコクリーニングサービス

◇ 昭和の森エリアサービス(株)
スマイルケア昭和の森

◇ NPO 法人日本幼児健康体育協会
◇ 株和光電気 代表取締役 和智重
◇ 株日本総合音楽研究所
◇ 株金祥堂紙販売

◇ 風間造園(株) 代表取締役 風間脩一
◇ 株石塚家具店 ◇ (有)海老山
◇ 株キタジマ

◇ (有)原島組 代表取締役 原島和敏
◇ 株ワイズマン

◇ アーキベルク一級建築士事務所
◇ シダックスフードサービス(株)東京支店

◇ (株)LEOK
◇ (有)リハビリサービス

◇ 株相田土居設計
◇ 株コスモス医工

◇ 長崎三丁目町会 会長 足立憲昭

※「同援だより名前掲載希望欄」に
○印をご記入頂いた方のみ掲載して
おります。



資 格 取 得 の 紹 介

次の方々が資格取得しました。
日頃の業務に活かしご活躍を期待
します。

【介護福祉士】

フジホーム 介護職員 森田 康介
フジ・デイサービスセンター
介護職員 那須重紀子
ニューフジホーム
介護職員 沖村有紀子
介護職員 市川 勝弘

グループホームかえで
介護職員 吉村 智子
介護職員 山下 彩音

昭和郷小規模多機能
居宅介護センター
介護職員 榎井 孝子

ゆたか苑
介護職員 黒澤 由枝
介護職員 白瀬 築

ひかり苑
介護職員 濱口 紀子

さやま園
生活支援員 人見 志帆

【介護支援専門員】

ひかり苑
施設長 南山 徳英
介護支援専門員 加藤田寛道

小茂根福祉園

生活支援員 奥脇 康平

【社会福祉士】

万世敬老園

介護職員 藤原 彩

サンライズ武蔵野

母子支援員 猪田 仁美

ニューフジホーム

介護職員 島村 友実

【精神保健福祉士】

小茂根福祉園

生活支援員 道家 朋子



祝表彰感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の
方々が表彰されました。
おめでとうございます。

◎東京都社会福祉協議会 会長表彰

ひかり苑

副施設長 坂庭 弘行

介護主任 吉田 正人

介護職員 生天目 尊

小茂根福祉園

生活支援員 白石 善太

生活支援員 中島 泰彦

生活支援員 上田トシ江

作業員 山崎 悦子

し
せ
つ
通
信

◆ つつじが丘保育園 ◆



新年度が始まり、新しいクラスでの親睦や交流、親子で自然の中で過ごすことを目的として、四月の第三土曜日に春の親子遠足を実施しました。多くの園児と保護者が参加しました。毎年、卒園児にも呼び掛けて地域交流としてゲームなどのお楽しみを計画しています。今年も、『新聞紙ボール運びリレー』と、毎年恒例の『ドッチボール』を行いました。事前に参加希望を募り、三十数名の小学一・二年生が集まり、当日は、園児の兄弟も加わり賑やかな交流会となりました。「先生、ドッチボールやる？」と子どもたちの方か



ら気さくに声をかけてきてくれる姿に、保育園時代の青バツチさん（年長児）の頃のあどけない姿が目につかび、すっかり小学生らしくなり、体も大きく男子は遅く、女子は女の子らしく成長している姿に目を見張り、とてもうれしいひと時でした。『新聞紙ボール運びリレー』では、四人で協力した頭脳プレイを見せてくれました。続いている『ドッチボール』では、チーム分けから大盛り上がり。やる気満々で目を輝かせ、ボールを投げる腕にも力が入り真剣勝負です。周りで応援する大人たちも興奮する程、白熱しました。ゲームが終了すると、「あー、面白かった。またやろう。」とみんな、晴れやかな笑顔でした。成長した卒園児に再会できることにとても幸せを感じます。保育園を巣立った子どもたち、そして、ご家族との交流を続け、困った時や悩んだ時にも気軽に立ち寄れる場所として、寄り添っていただける保育園でありたいと思います。

（永山 記）

◆ 昭和郷高齢者複合施設 ◆

昨年五月に昭島市の地域包括ケアシステムの拠点としてオープンした昭和郷高齢者複合施設は、この五月で開設一年となりました。この間、多くの方々のご支援を賜り、深く感謝しております。

この昭和郷高齢者複合施設では、当法人初の事業となるサービス付き高齢者向け住宅と訪問介護を運営しています。施設型サービスとは違う課題と向き合いながら、利用者、職員双方の満足度向上のため試行錯誤いたしております。地域の皆様に安心と信頼を届けられる事業所を目指して、職員一同さらに努めてまいります。

また、今年三月より、さくらカフェを新たにオープンしました。このさくらカフェは、一階のさくらホールを開放し、毎月第二土曜日十時から十五時まで地域の誰もが集える場として、毎回違った催しを企画し楽しんでいただいております。講演会やアロママツサージ、フラワーワークなどのワークショップの他に、さまざまなご相談に気軽にお応



同 援 俳 壇

昭島荘 道句会

新ちくの
家で見かけた 燕かな

公園の
角に見かけた 犬ふぐり
神 きぬゑ

友と行く
車窓たたく 春あらし

夜勤明け
帰りの道に なごり雪
加賀屋美知子

あの角に
この階段に おひな様

一面に
黄色にそめて たんぼぼが
河内 通子



えできるよう、福祉・介護の専門家による相談コーナーも設けております。休憩スペースではグループホームかえでの利用者様がおいしいコーヒィを淹れて、バリスタとして活躍されています。また、このさくらカフェは地域の方にご来店いただけるだけでなく、地域の方がカフェの企画から当日の運営までを職員と一緒に作り上げています。さらに、このさくらホールは地域の自治会との交流会や各種活動の場としても広く活用していただいております。

昭和郷高齢者複合施設は、昭島市の高齢者が住み慣れたこの町で、この場所でも、ご本人の意向を十分に尊重し、生き活きとその人らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、質の高いサポート・支援を提供いたします。また、関係諸機関等とも連携し、地域包括ケアシステムの構築に努めます。昭和郷(当法人)の特徴を活かし、高齢者介護だけに留まらず、地域福祉の拠点としての役割を担うべく精進してまいります。(浅見 記)

◆ さやま園 ◆

さやま園は昭和三十九年に開設され、現在は男性二十五名、女性七十一名の九十六名の方が暮らす知的障がい者の入所施設です。

さやま園は、法人の基本理念である「地域の皆さんと一緒に福祉のまちづくりに努めます」の具体化を進め、地域に必要とされるさやま園として、新たなニーズへの対応や、地域への支援を通して、多様性を認め合う共生社会の実現を目指しています。

「地域の方々が気軽に利用し、開かれたさやま園」をキーワードに、『ボードレスプロジェクト・ワークシヨップ・イン・さやま園』を一年から開催しています。『施設ってどんなところなんだろう? 楽しそうな事やっているなア、行ってみようかな?』という気軽さと興味、関心をもってもらうための、『モノづくりを通して、障がいのある人たちと知り合う機会づくり』という企画です。夏には藍染め、冬には親子で作るシルクスクリーンのワークシヨップを行いました。

藍染めの講師は、世界中を旅しながら服をつくるアーティスト、行橋智彦さん。地域から大勢の方が来園し、一緒に藍染めの手ぬぐいを作りました。開催当日の早朝に摘んだ藍の生葉を生地にのせ、たいてい形を写したり、ビー玉を使って絞りを作ったり、さやま園の仲間の発想豊かで自由な模様や細工に、大いに感心の声が上がりました。

シルクスクリーンの講師は、版画



(人見 記)

作家でデザイナーでもある、やまき薫さん。今回は、親子での参加でした。布のバッグにシルクやテープを自由に貼り、最後に版に乗せてインクを摺り出ま上がりです。どの作品もユニークで個性豊かな出来栄に拍手が送られました。また、利用者がお子さんの手を握り、微笑みが見えない光景はとても素敵でした。

こうした専門家の教えに会い、共に楽しみ、味わった達成感を通して、気持ち繋がりが、人の輪が大きくなりました。障がいの有無などという境界を、いつの間にか自然と乗り越えている出会いの場、居場所でした。地域の人たちとふれあい、もっと気軽に立ち寄って頂けるよう、今後のワークシヨップにご期待ください!

蝶々の
とんで止まるは
な畑や
八十代 女性

桜の樹
満開に咲く
通い道
鮫島 英子

万世敬老園
日だまりに
あそぶてふてふ
赤松ハツエ
なの花に

たんぼぼの
よろこぶ顔が
目にうかぶ
うぐいすの
よろこぶ幼児
うれしさよ
関根喜代子

バザー等ご協力
ありがとうございました

○東村山生活実習所まつり

五月二十七日(日)

○同援みどり保育園 バザー

六月二日(土)

○小茂根福祉園 こもねフェスタ

七月七日(土)

○同援はいじま保育園 夕涼み会

七月十三日(金)

○大山保育園 夏祭り

七月十三日(金)

お知らせ

左記の予定でバザーや夏まつり等
を開催致します。
品物のご寄附ご協力等よろしくお
願い致します。

○つつじが丘保育園 夏祭り

七月十九日(木) 十六時三十分～

○むさしの保育園

はじっこ盆踊りミニバザー

七月二十日(金) 十六時～

○むさしの保育園 方南分園

縁日夕涼みミニバザー

七月二十四日(火)

十六時三十分～

○さやま園 夏祭り

七月二十四日(火) 十七時～

○ゆたか苑 夕涼み会

七月二十五日(水) 十五時～

○昭和郷 納涼の夕べ

七月二十六日(木) 十八時～

○同援さくら保育園

さくらフェス

七月二十八日(土) 十五時～

○さいわい福祉センター

夕涼み会

八月四日(土) 十七時～

○立川福祉作業所 すぎな祭

八月四日(土) 十一時～

○同援みどり保育園 夕涼み会

八月二十四日(金) 十八時～

○サンライズ武蔵野 バザー

九月三十日(日) 十二時～

○児童センターぱれっと

ぱれっと感謝祭

十月一日(月) 十時～

○ゆたか苑 地域交流バザール

十月十三日(土) 十時～

○さやま園祭 (ひかり園・

サンホーム合同開催)

十月二十一日(日) 十時～

○むさしの保育園・サンライズ

武蔵野 はじっこハロウィン

十月二十七日(土) 十時三十分～

○昭和郷フェステバル

十一月三日(土) 十時～

○小茂根福祉園 こもねまつり

十一月十日(土) 十時三十分～

○さくらんぼ さくらんぼ祭り

十一月十一日(日)

十二時三十分～

雑感

夏日を記録する日があり、保育園
では今年暑さを気にかけながら運
動会の練習をしています。様々な教
育機関でも運動会シーズンとなりま
した。普段の業務として運動会の運
営側にいる私にとっては、我が子の
運動会で観客になると、どんな気持
ちで居ればいいのか、色々な人の動
きを見てしまい、素直に我が子だけ
を応援できず、注意散漫でそわそわ
しています。

そんな中、今年は息子がリレーに
選ばれました。学年で希望者を募
り、クラスは問わずタイムでの選考
です。しかしその走順決めがスムー
ズにいくものではありませんでし
た。

一回目の練習は、適当な順番で走
りました。練習を重ねることに相手
チームのメンバーを見たり、速さを
考慮してチーム内で相談を重ねま
す。そこで、チーム内に強敵が現れ
ました。一回目の練習でアンカーを
走った子が、走順変更に応じないの
です。タイムでは息子がチーム内で
一番速いのですが、アンカー交代を
願ひ出るとなんと帰ってきた言葉が
「お母さんに相談する」それから
毎日、息子が相談してくるたびに案
をいくつも出しました。
・練習は色々な人でアンカーを
やってみよう。
・対決で競争しよう。
・無理やり走ってみる。
・ジャンケンで決めよう。

・チーム内の多数決で決めよう。
しかし、意思の固いその子が走順
変更に応じる事は最後までありませ
んでした。

そこで、息子はやっとの事で気持
ちを切り替えて、チームが勝つ為
にどうしたら良いのかを考え、バト
ンの練習をしたりアンカー以外の走
順変更を繰り返しました。そして、ア
ンカーまで一位でバトンをつなぐ事
にしたのです。作戦が功を奏し練習
では高順位をキープしていました。

そして当日。結果は、四位。

とても残念な結果で、息子は怒り
爆発でした。しかし親としては、と
ても学ぶ事が大きい出来事でした。
子育てにおいて寄り添い見守る難し
さ、本当に大切なことだと思いまし
た。これから思春期を迎える我が子
の成長が楽しみであるとともに、親
としても成長していきたいです。
(鈴木 記)

―表紙の写真―

「古代蓮の里にて」

(佐伯 直美氏)

平成三十年七月十五日 発行
東京都新宿区原町三の八
電話 〇三(三三四一)七六一
社会福祉法人 財団法人 東京都同胞援護会
発行者 飯山 幸雄
印刷所 東京都同胞援護会事務局
東京都墨田区両国四一―一八
<http://www.doen.jp/>